

動物譚展

おもしろくて不思議な動物たちの絵物語

Animals
in Picture Stories



2025年
4月11日
金
↓
6月1日
日

このたび市立伊丹ミュージアムでは、「動物画譚展 おもしろくて不思議な動物たちの絵物語」を開催することとなりました。

はるか昔から日本では、「動物」が美術や文学のモチーフとしてさまざまな形で描かれ、語られてきました。なかでも室町時代から語り継がれているお伽草子では、狐や鼠、猿、犬、鳥などの「動物」が登場し、人間に報いをもたらしたり、まるで人間のように振る舞ったり、あるいは人間と結婚したりと、実に多彩な姿で物語世界のなかに息づいています。「動物」が人びとにとつて身近な存在であるとともに、自然に近い存在として人知を超えた不思議な力をもつと考えられており、その親愛と畏敬の念が物語という形で表されてきたのです。

本展では、そんな「動物」にまつわる昔話や説話を描いた絵巻や絵画、書冊など約一五〇点を通して、現代にも受け継がれている日本の人びとの動物観を探り、日本文化史の側面を捉えます。私たちにも馴染み深い「桃太郎」や「猿蟹合戦」などの昔話をはじめ、妖狐や白鼠をめぐる説話や、鳥や獣たちの歌合、そして、この世ならざる霊獣や珍獣の伝説など、多種多様な「動物」の絵物語をご紹介します。

また、大阪・関西万博の開催にあわせて、異国から渡来して日本の人びとを大いに驚かせた動物たちの記録もご紹介し、「動物」をめぐる歴史の一端にも触れます。

動物画譚展

おもしろくて不思議な動物たちの絵物語

会期：二〇二五年四月十一日（金）～六月一日（日）

月曜休館（ただし五月五日は開館、五月七日は休館）

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時半まで）

主催：市立伊丹ミュージアム「伊丹ミュージアム運営共同事業体／伊丹市」

料金：一般＝1,000円、大高生＝700円、中学生＝400円

アトリエ・ワークショップ「羊毛フェルトで動物の絵を描こう！」

ミニ巾着にニードルフェルトで好きな動物を刺しゅうしましょう。

絵を描くように刺しゅうできるので、どなたでも楽しめます。

講師：新居奈津美（The mill of KUMA 代表）

日時：五月五日（月祝）午後一時半～午後三時半

場所：一階アトリエ

定員：一六名（小学生以上／小学校三年生以下は要保護者同伴）

参加料：一五〇〇円（材料費・展覧会観覧料込）

要事前申込（先着順）・電話072-772-15959まで

お問い合わせ

担当学芸員：新宮・一氏・岡本・上野

- 展覧会内容については、
岡本 (okamoto@itami-im.jp) まで
- 広報画像については、
斎藤 (gakugei@itami-im.jp) まで

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20
TEL. 072-772-5959(代表)
<https://itami-im.jp/>



市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum
of Art, History and Culture





1 《鶴の草子》江戸時代中期頃、大阪大谷大学図書館蔵



2 伝久隅守景《花咲翁絵巻》江戸時代中期頃、文教大学付属図書館蔵



3 《やひやうゑねすみ》江戸時代初期、慶應義塾図書館蔵



5 歌川国芳《犬図》江戸時代後期、摘水軒記念文化振興財団蔵



4 円山応挙《時雨狗子図》明和四年、府中市美術館蔵



6 《雀の発心》江戸時代前期、西尾市岩瀬文庫蔵



7 《大石兵六物語絵巻》江戸時代、国立歴史民俗博物館蔵



8 《玉藻前草子絵巻》江戸時代初期、サントリー美術館蔵



9 森二鳳《稲荷狐図》安政六年、関西大学図書館蔵

広報用画像およびチケット掲載の申込書

市立伊丹ミュージアムにて開催する「動物画譚 (どうぶつがたん)」展にて、貴媒体での掲載にあたり画像がご入用の際は下記にご記入の上、FAX かメール : gakupei@itami-im.jp にてお申し込みください。

画像 (別紙プレスリリース参照)

※ご使用の際は下記キャプションを明記してください。

※部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理は禁止されております。

※掲載記事の校正と完成版を必ず提出していただきますようお願いいたします。

※提供画像は「動物画譚展」告知においてのみ使用を許可します。

それ以外での使用はできませんので画像データの扱いにご注意ください。

<input type="checkbox"/>	1	《鶴の草子》江戸時代中期頃、大阪大谷大学図書館蔵
<input type="checkbox"/>	2	伝久隅守景《花咲爺絵巻》江戸時代中期頃、文教大学付属図書館蔵
<input type="checkbox"/>	3	《やひやうゑねずみ》江戸時代初期、慶應義塾図書館蔵
<input type="checkbox"/>	4	円山応挙《時雨狗子図》明和4年、府中市美術館蔵
<input type="checkbox"/>	5	歌川国芳《犬図》江戸時代後期、摘水軒記念文化振興財団蔵
<input type="checkbox"/>	6	《雀の発心 (小藤太物語)》江戸時代前期、西尾市岩瀬文庫蔵
<input type="checkbox"/>	7	《大石兵六物語絵巻》江戸時代、国立歴史民俗博物館蔵
<input type="checkbox"/>	8	《玉藻前草子絵巻》江戸時代初期、サントリー美術館蔵
<input type="checkbox"/>	9	森二鳳《稻荷狐図》安政6年、関西大学図書館蔵

告知用のチケットプレゼント 名分 (最大5組10名)

※ メディアでのチケット告知用に限ります。必ず掲載記事を市立伊丹ミュージアムに提出することを提供条件とします。

※ 転売や違法売買は一切禁止いたします。不正が判明した場合、該当チケットは無効となり、以後のご提供は無しといたします。

媒体名：	掲載日：
御社名：	ご担当：
Mail：	
TEL：	FAX：
住所：	